



THE
WAKASA WAN
ENERGY
RESEARCH
CENTER

〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地 1
公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

エネ研ニュース Vol.124

<http://www.werc.or.jp/>

平成 30 年 10 月 1 日発行

今年 エネ研開所 20 周年 11 月に記念講演会を開催

福井県若狭湾エネルギー研究センターは、平成 10 年 11 月 11 日に開所し、今年の 11 月で 20 周年を迎えます。そこで、これを記念し講演会を開催します。

講師には、量子科学技術研究開発機構（量研）の平野俊夫理事長をお招きし、重粒子線がん治療装置「HIMAC（ハイマック）」を利用した「がん死ゼロ健康長寿社会実現に向けて～量研の戦略～」というテーマで講演いただきます。

当日は、講演会終了後に加速器施設の見学会を予定しています。また、エネ研の研究成果について展示するほか、「育種技術体系の構築」に関する国の戦略的プログラムにエネ研とともに参加している理化学研究所と量研の研究成果も合わせて展示します。

当日参加も可能ですが、できるだけ事前にお申込みいただくようお願いいたします。詳細は、チラシまたはエネ研ホームページ（<http://www.werc.or.jp/>）をご覧ください。企画支援広報部（TEL：0770-24-7273）までお問合せください。

（日 時）平成 30 年 11 月 16 日（金）13:00～

（場 所）福井県若狭湾エネルギー研究センター ホール

（参加費）無料

20th 開所20周年 地域への貢献をめざす
福井県若狭湾エネルギー研究センター
開所20周年記念講演会

日時 平成30年 11月16日（金）13:00～14:20 **参加無料**

場所 福井県若狭湾エネルギー研究センター ホール
「がん死ゼロ健康長寿社会実現に向けて」～量研の戦略～

講演者 田立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 理事長 **平野 俊夫 氏**

施設見学ののご案内 事前に下記申込書により当センター加速器施設の見学を希望された方を対象に、14:30からご案内します。
展示コーナーのご案内 12:30から当センター他の研究成果を見学できます。
展示協力：理化学研究所、量子科学技術研究開発機構

主催：（公財）若狭湾エネルギー研究センター・福井県
※本講演会は、ふくいオープンイノベーション推進機構のイノベーションリサーチ交流会を兼ねております。

お問い合わせ・お申込み
公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
〒914-0192 福井県敦賀市長谷64号52番地1
TEL：0770-24-2300 FAX：0770-24-2303
E-mail：werc@werc.or.jp URL：http://www.werc.or.jp/

参加申込書 送付先：若狭湾エネルギー研究センター（上記住所またはFAXにて）
会社名・機関名 _____ E-mail _____
TEL/FAX _____
氏名 _____ 所属部署・役職 _____ 加齢の目安 _____
氏名 _____ 所属部署・役職 _____ 加齢の目安 _____

高志高校の生徒がエネ研の分析機器等を利用して実験しました

SSH※（Super Science High school）指定校である福井県立高志高校の2年生40名が、平成30年9月12日にエネ研の研究員の指導の下、各自の選択したテーマについて専門性の高い分析機器等を利用した科学実験や分析・観察等を行いました。

このうち、「アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定」では、生徒たちが各自の口内細胞からDNAを抽出し、遺伝子検査装置によりアルコール分解に関係のあるアルデヒド脱水素酵素の遺伝子の型を調べました。その結果、自分の遺伝子がアルコール分解能力の強いタイプかどうか分かり、生徒たちは遺伝子分析に強い関心を示しました。

実験後には、生徒同士による結果発表を行いました。自分たちの発表が制限時間内に収まるよう工夫したり、活発な質疑を交したりして、科学に大いに興味を持つ体験となりました。

※SSH・・・文部科学省が指定。指定校は、科学技術系人材の育成を目的に、大学や研究機関等と連携し、学習指導要領によらない発展的な内容を学んでいます。

テーマ	講師（エネ研）
環境水等に含まれる微量金属分析	遠藤研究員
プログラミングと近似計算の基礎	西尾研究員
電子顕微鏡によるマイクロ組織の観察	安永研究員
アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定	田中研究員
β （ベータ）線と γ （ガンマ）線の吸収曲線の測定	栗田研究員
金属の蒸発と薄膜生成実験	石神研究員
発光ダイオード(半導体)の特性と光子数の算出	鈴木研究員



口内細胞からのDNAの抽出実験



実験結果発表の様子

原子力施設立地のための国際原子力人材育成研修を開催しました

原子力発電を導入、または検討しているアジア各国の原子力人材育成に貢献するため、原子力の立地に関する事項を学ぶ文部科学省の研修事業「原子力施設立地コース」を平成30年8月27日から31日までの5日間、アクアトムなどで開催しました。

本研修には、バングラデシュ、マレーシア、インドネシア、タイ等のアジア10か国とオブザーバー参加のポーランドの計11か国から、原子力庁、原子力委員会、電力公社等の行政官11名が参加し、原子力立地に係る法律、審査事項や広報、リスクコミュニケーションに関する講義を受講しました。また、立地選定や国民理解など各国の原子力導入計画に関する課題について討論を行ったほか、原子力の科学館「あっとほうむ」等の福井県内の原子力関連施設を見学しました。

研修生からは、「国民理解のためには正しい情報の普及が必要で、『あっとほうむ』のような子供が楽しく学べる施設は我々の国にも必要だ。」といった感想が寄せられました。



「あっとほうむ」の見学



日本原子力発電(株)の敦賀発電所3・4号機建設準備工事現場の見学

第20回 エネ研研究報告会を10月末に開催します

エネ研では、研究活動を広くご理解いただくために研究報告会を実施しています。

今回は、特別講演として、「はやぶさ」が持ち帰った小惑星「イトカワ」のサンプルの分析チームリーダーを務めた京都大学大学院の土山明先生を講師にお招きし、分析結果や、現在小惑星「リュウグウ」で活動中の「はやぶさ2」への期待等についてご講演いただきます。

また、エネ研の研究内容やエネ研が開発したシステムの紹介、ポスターセッションを行います。

詳細は、エネ研ホームページ (<http://www.werc.or.jp/>) をご覧いただくか、企画支援広報部 (TEL: 0770-24-7273) までお問合せください。ご来場をお待ちしております。

(日 時) 平成30年10月30日(火) 13:30~17:00

(場 所) 福井市文京3丁目9-1

福井大学文京キャンパス総合研究棟 I

13階会議室

(参加費) 無料

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター
第20回 研究報告会
共催：国立大学法人 福井大学 参加費
無料

日時 2018年10月30日(火) 13:30~17:00

会場 福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 13階会議室
(福井市文京3-9-1)

特別講演 はやぶさとはやぶさ2~小惑星サンプルと粒子線照射実験
土山 明 (京都大学大学院理学研究科 教授)

はやぶさが持ち帰った小惑星サンプルの分析チームリーダーを務めた土山先生から、その分析結果やはやぶさ2への期待、さらには当センターにおいて実施した粒子線照射実験が果たした役割についてお話しいたします。

研究報告 ・若狭湾エネルギー研究センターにおける研究活動の現状と将来
・開発事例紹介「小型自走式レーザー除染システム」
「陽子線オンラインモニタリングシステム」
—— ポスターセッション ——
・平成29年度公募基盤共同研究の成果
・当法人の各研究分野における取組状況
・冬虫夏草菌を用いた新規抗腫瘍物質の生産
・高分子材料上の金属めっきの密着性に関する研究
・水素吸蔵材料のための大気中イオンビーム分析手法の開発

【参加申込方法】
下記アドレスまで、「ご所属」、「お役職」、「お名前」、「ご連絡先電話番号」をメールにて送信ください。
E-mail: hokoku@werc.or.jp

【お問合せ先】
公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター 企画支援広報部
〒914-0192 敦賀市奥谷64-52-1 TEL: 0770-24-7273

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail: kikakushien@werc.or.jp TEL: 0770-24-7270 FAX: 0770-24-7275

